

足立先生のもとに集う あすなろの会

新学習指導要領における
「国語科の見方・考え方」について

20210918sat

山梨大学 茅野政徳（かやのまさのり）

mkayano@yamanashi.ac.jp



言葉による見方・考え方

言語による見方・考え方を働かせるとは、児童が

学習の中で、**対象と言葉、言葉と言葉との関係を、**

言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり

問い直したりして、**言葉への自覚を高める**こと。

- 言葉に立ち止まる
- 言葉に自覚的になる

言葉に立ち止まる

父もその父も，その先ずっと顔も知らない父親
たちが住んでいた海に，太一もまた住んでいた。



「海の命」 （立松和平）

「ちいちゃんのかげおくり」



- ちいちゃんは、ざつのうの中に入れてあるほしいいを、少し○○○○○○。
- ちいちゃんは、ざつのうの中のほしいいを、また少し○○○○○○。

どうぶつ園のじゅうい

うえだ みや文

ニシハマ カオリ 絵

わたしは、どうぶつ園ではたらいている じゅうい
です。わたしのしごとは、どうぶつたちが 元気にくら
せるように することです。どうぶつが びょうきや
けがをしたときには、ちりょうをします。ある日の わた
しのしごとのことを 書いてみましょう。

朝あさ 見ま回わる
顔かほ
大たい切きり

朝、わたしのしごとは、どうぶつ
園の中を 見回ることからはじまり
ます。なぜかというと、元気なとき
の どうぶつのようなすを見ておくと、
びょうきになったとき、すぐに気づ
くことが できるからです。また、
ふだんから わたしの顔を見せて、
なれてもらうという 大切なゆうも
あります。どうぶつたちは、よく知ら
ない人には、いたいところや つら



② **わたし**は、この固有種たちがすむ日本の環境を、できるだけ残していきたくて考えています。

⑪ **わたしたち**は、固有種がすむ日本の環境をできる限り残していかなければなりません。

- **わたし**はらんかんにもたれた。お兄ちゃんもせかさなかった。
- だけど、あのおばあちゃんが言っていたように、**わたしたち**がわすれないでいたらー楠木アヤちゃんが確かにこの世にいて、あの日までここで泣いたり笑ったりしていたこと、そして、ここでどんなにおそろしいことがあったかということーをずっとわすれないでいたら、世界中のだれも、二度と同じような目にあわないですむかもしれない。

内容と形式（書かれ方・言葉の使い方）は両輪



内容

形式

言葉に自覚的になる

- 発信者：よし、この言葉を使おう！
 - 受信者：なぜ、その言葉を使ったの？
- ➔ 自分の言葉、相手の言葉にアンテナを立てる

ライオン

工藤直子

雲を見ながらライオンが

にようぼう

女房にいった

そろそろ めしにしようか

ライオンと女房は

連れだってでかけ

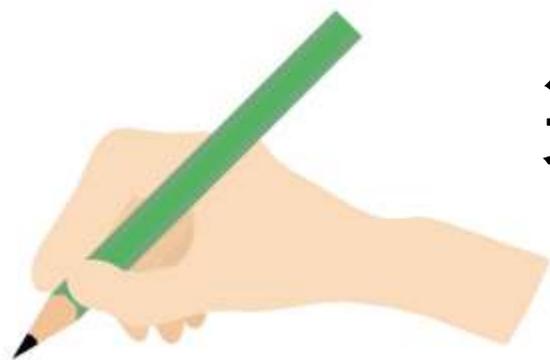
しまうま た

〇〇〇〇と縞馬を喰べた

●有体に言えば (大学)

●雑駁ですが (横小)

今がチャンス！



箸や鉛筆の持ち方
自転車の乗り方
逆上がり



○内的辞書の拡充

14000 ÷ 6 ≒ 2300

16000 ÷ 3 ≒ 5300

・理解語彙 聞いたり読んだりしてわかる語彙。約2万語から5万語。

小学校入学時6千語 卒業時2万語 中学校卒業時3万6千語

・使用語彙 話すこと書くことにおいて使う, 使える語彙

日常生活における使用語彙は, 約三千語で間に合う

・語彙は日常の言語生活(特に自由な読書)を通して獲得される。データは米国での英語の習得の場合であるが, 小学生の間は年間平均3000語ずつ, 語彙量が増加する。また, 一日25分間多く読書するだけで, 年間約1000語が更に増えるという研究もある。

「お手紙」

語彙を生み出そうとする子どもたち



「気持ちが、ずんって変わった」

「めちゃくちゃうれしい、うれしいよりもっと上、うれしいがアップ」

「びっくりとうれしいが混じっている感じ」

「うれしい気持ちと幸せな気持ちが伝わってきた」

使える言葉
をつなげる

「気持ち・心情」を表す言葉

〈2年〉

おもしろい 楽しい わくわくする うれしい よろこぶ 気持ちがいい あんし
 ん へいき すき おどろく どきどきする 気持ちわるい しんぱい こわい
 さびしい かなしい つまらない くるしい ざんねん しあわせ うらやましい
 わすれられない 気になる こまる くやしい きらい おそろしい

〈3年〉

びっくりする さわやか ゆかい 気分がいい きげんがいい まんぞく ほっと
 する 落ち着く 待ち遠しい なつかしい かんしゃ **かんげき** ひっし 本気
 じまん じしん てれる てれくさい こうふん 気分が悪い きんちょう は
 ずかしい まよう はらが立つ 落ち着かない あせる 不安 心細い つらい
 はんせい おちこむ 反省する きょうみをもつ

〈4年〉

むちゅう 心温まる **感動** **むねがいっぱいになる** 関心をもつ うかれる 注意
 がっかり 気楽 苦手 にくい なやむ いい気がしない おそれる じれったい
 頭をかかえる うっとり 好む 親しむ しんけん はり切る 思いこむ こだわ
 る しんぼう こらえる ふきげん 冷やあせをかく 気が遠くなる 気が重い
 期待 引きつけられる はっとする うきうき ゆだん 慌てる すねる ぎよっ
 とする ショックを受ける 気に入る あきる はらはらする ひやひやする た
 いくつ 頭にくる ありがたい とくいになる 気を引きしめる ほこらしい

〈5年〉

ほほえましい 会心 **ときめく** 共感 **快い** 声はずむ **むねが高なる** 引かれ
る 気が晴れる 張りつめる 思い出深い きおくに残る 印象深い 安らぐ 気
を静める 気が軽くなる **満ち足りる** 心強い 息をのむ うろたえる あたふた
する いら立つ しんみり 気が進まない 気が重くなる もの悲しい 息苦しい
むねがいたむ いたたしい めんどう うんざり とまどう 不気味 いまいまし
い しらける さっぱりする かんしん 目を丸くする ぞっとする あきれる
かっとなる 元気づけられる 目をうたがう もの足りない しぶしぶ あっけ
にとられる 恋しい こりる 気がすむ 気の毒

〈6年〉

したう あこがれる 好感をもつ いとしい **心にひびく** 圧倒される 我を忘れ
る 痛快 ここちよい 晴れやか 胸をふくらませる 待ち望む 意気ごむ くつ
ろぐ 気が楽になる 解放感 かたの荷が下りる くすぐったい そわそわする
おろおろする 気がかり 気が気でない もどかしい 切ない たまらない なや
ましい わずらわしい 嫌気が差す むっとする 鼻につく ぐらつく ためらう
なごりおいしい 心残り 後悔 くじける 失望 意外 なごむ 気はずかしい 心
が動く かたの力をぬく ぐっとくる いたわる 苦心 心が晴れる **心がはずむ**
腹を決める 熱を上げる 熱がさめる むねにせまる むねにひびく

ラクな方へ変化するのが言葉

進化？それとも退化？

略語・「話し言葉」化・多義語

やばい うざい えらい いい 大丈夫 すごい



- ①人間の身体はすごい。
- ②一橋大生はすごい。
- ③戦争を体験した世代はすごい。 (たくましい)
- ④プロの投手の球は生で見るとすごい。 (速い)
- ⑤甲子園球場はスタンドの声援がすごい。 (大きい・迫力がある))
- ⑥ベトナムの市場は食品売り場がすごい。
- ⑦息子の幼いころの写真の顔がすごい。 (? !)
- ⑧映画『君の名は。』はすごい。
- ⑨今日は風がすごい。
- ⑩ディーピンパクト産駒はすごい。
- ⑪藤井聡太はすごい。
- ⑫大学の学費を自分で稼いでいる人はすごい。

多義語って
便利?!

かえるくんからお手紙をもらえると
わかった時の、がまくんの気持ちは？



語彙指導の改善・充実

〔低学年〕 **身近**なことを表す語句

〔中学年〕 **様子**や**行動**, **気持ち**や**性格**を表す語句

〔高学年〕 **思考**に関わる語句

“**気持ち**”や“**性格**”を表す言葉

人の“**性格**”を表す言葉を

いくつか書けますか？

おもろい 親孝行

忠孝 (まことう・人のために)

澄良 純真 思ひ深い 明朗 いき、思いやり

おもしろい

(朗らか)

親当 (親健) 情熱的 元気 素直 (正直)

穏和 熱心 優が 気さく フラス思考

上品 優和 (優雅) 人がつこい

優しい 努力家 フレンドリー

親切 真面目 ユモアがある

好人物 陽気 落ちつく

積極的 器用 クール 温故知新

けんきょ 従順 (中) 誠実 勝気

弁才 のん気 正実 野望 (がある)

のほほん 不器用 えんせいの 楽天的

負けず嫌い、善良 善意 不が云ブ

人見知り おひとよし おこしい マイナス思考

か弱い ビビリ 人の言いかり 利用される 欲深い

かたがう 大人しい (たまされる) 沈み、腹黒い

おとり 無じヤキ、 のろま

プライド高い 心配なう

ウソつき、不安がり 自意識がけう

ギレンあんキ、大人げない ぶっきらぼう

子ども扱い (人のこと考こがし) がん、

せ、からち 利己的 (自分だけ) ナルシズム

短気 かげキ、 自己中 (己的) 自分愛

悲観 受動的 勝手 えご、やぼ

消極的 いん気 自分が勝手 あほ

ひこみじあん しつこい ずぼろ いじわる

おろかしい ばか

ヒステリー 泣き虫

でいぼり、いくしなし

変人 一う慢 暴まん 野放図

ぶあ、そのり 反抗的 高慢 意地きたがい

(意地) 意識的 (意図的) 意地、ぼり 強がり

「モチモチの木」

① 豆太は、「強い」と「勇気がある」

お母さんが子どもに：思い切り転んでも泣かないなんて、（ ）子だね。

② 「おくびょう」と「こわがり」

・ 廃墟ツアーに行こうとする大学生の会話

なあ、誰誘う？

茅野は暇だぜ。

でもなーあいつは、連れて行くのやめようぜ。だってあいつ（ ）だからな。

・ 夫婦の会話

息子はどこにいる？

えっ、家の前の道で友達とボール投げをしているはずよ。

危なくないか？

大丈夫よ。だって、あの子（ ）だから、道路に飛び出したりしないわよ。



語彙の身に付け方：5ステップ

① 知る（理解語彙・知識）

② 日々目にする，耳にする（視聴化）

③ 意識的に使う（技術化）

【言葉のダンス貯金】
頭のダンスにしまっている
語句を引っ張り出す

④ 効果の実感（有能感・他者評価）

⑤ 無意識に使う（使用語彙・技能化）



なぜ、言葉を増やす必要があるのか

Q:ことばは人間にとってどのようなものか



Q:ことばは人間にとってどのようなものか

- ・コミュニケーションの道具
- ・思考の道具
- ・イデオロギーやナショナリズムの象徴
(公用語・男ことばと女ことば・想像の共同体)
- ・アイデンティティ
(流行語・若者言葉・方言?)
- ・人間と世界を結ぶもの
 - ➡ことばによって現実世界に対する「ものの見方」が規定される
 - ➡「ことばは世界への窓である」(今井 2010)

Q: 虹は何色？



Q: 虹は何色？

日本語 (7 色)	紫	藍	青	緑	黄	橙	赤
英語 (6 色)	violet		blue	green	yellow	orange	red
ショナ語 (3 色)	cipswuka		citema		cicena	cipswuka	
バサ語 (2 色)	hui				ziza		

ちなみに…スペイン語 6色 ドイツ語・ロシア語 5色

Gleason, 1961

Q: 現実世界が先か, ことばが先か



図 1

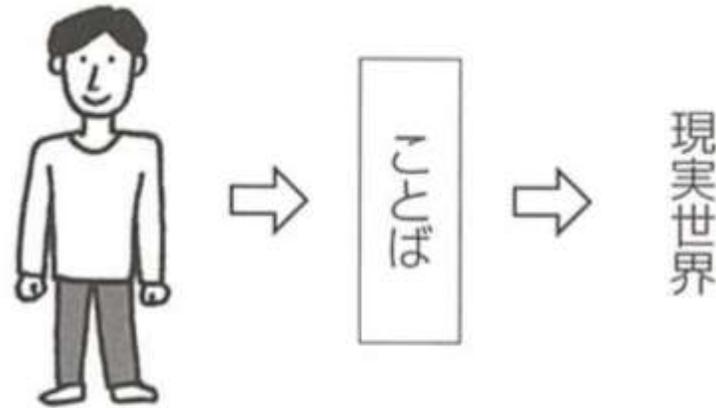


図 2



- ・「人間」は直接「現実世界」を見るのではなく、「ことば」を介して「現実世界」を見ている。
- ・「現実世界」を見る「ことば」が異なれば、「現実世界」も異なって見える。

座布団
クッション
まくら



兄弟姉妹

表2 現代日本語

	男	女
年上	兄	姉
年下	弟	妹

表3 英語

男	女
brother	sister

表4 インドネシア語

	男女共通
年上	kakak
年下	adik





	H ₂ O		
マレー語	air		
英語	ice	water	
日本語	氷	水	湯



『ことばと文化』(鈴木孝夫1973)

「ものの見方」の多様性 〈注意〉



1. ベイスターズが、ジャイアンツに勝った。

2. ジャイアンツが、ベイスターズに負けた。



3. 私たちは、今日4コマも講義を受けなければならない。

4. 私たちは、今日4コマも講義を受けることができる。

「ものの見方」としての〈態度〉〈評価〉

1. 賛成が半数近くいる。
2. 賛成は半数に達していない。
3. 茅野は、ゆるぎない信念を持っている。
4. 茅野は、考え方が凝り固まっている。
5. 全体はよくできているが、細部に課題があるね。
6. 細部に課題はあるが、全体としてはよくできているよ。



○日本語の特質…言葉の「身体性」

- ()の多さ
- カタカナ語(外来語) ひらがな 漢字 ローマ字 英語
- 心理表現
- ()・()表現の豊富さ ➡なのに()が多い
- 言葉遣いによる()の違い
- ()語の豊富さ

- ()現象に関する語彙

母語として日本語を持つ人は、他の言語に比べて決定的に違う特徴があります。それが自然の音を「言葉」として聞くことができる感覚です。

風の音を「そよそよ」、「ざわざわ」、「ひゅうひゅう」、「びゅうびゅう」など聞いたり、表現したりすることです。

虫の音を「ころころ」、「リーんリーん」、「すいっちょ」などと聞いたりすることです。

日本人は、これらを言葉として左脳で感じますが、他の言語においては機械音などと同じに雑音として右脳で感じています。

音楽についても、西洋では右脳を音楽脳と呼んだりして右脳で処理していることがわかっています。

日本語話者の脳では、人間や動物の鳴き声や邦楽を言葉として左脳で処理しています。「チントンシャン」、「ドンドコドン」など、音楽を言葉で表現し伝えたりしています。

西洋音楽については、日本語話者であっても右脳で処理しているが分かっています。

「走る」と「歩く」

run jog sprint dash

bound「大股で元気に走る」 scurry「小走りで行く」

walk ramble amble swagger stagger

ぶらぶら歩く stroll いばって歩く strut

とぼとぼ歩く trudge よちよち歩く toddle

主格・一人称

わたし わたくし あたし あっし 自分 ぼく ぼくちゃん ぼくち
ん おれ おれさま おれっち 手前 あが あたい あだす あ
て うち うら おいどん おら おの おいら おり おい おりゃ
おらっち おわ おどん わだす わ わい わす わたい わし
わて わっち わら われ わん わっし わぬ 拙者(せっしゃ)
ミー 当方(とうほう) 本官 本職 当局(とうきょく) こちら 我
が輩 己れ(おのれ) 余・予(よ) 小生(しょうせい) 手前(て
まえ) 作者 先生 etc

国語科学習の根底に

言葉は、人が生み出すもの

説明文って何だろう？

・**筆者**はその道の**専門家**であることが多い

・話題とする事象の**すばらしさ, 巧みさ, 奥深さ, 魅力, 価値**

→読者に伝えるための「**説得行為**」

＝読者にとっては「**納得行為**」





作者を知り，作者に問う

1年下 「くじらぐも」

2年上 「スイミー」

3年下 「ちいちゃんのかげおくり」

4年上 「一つの花」

4年下 「ごんぎつね」

5年 「大造じいさんとガン」

6年 「やまなし」

中1 「大人になれなかった弟たちに……」

中1 「少年の日の思い出」

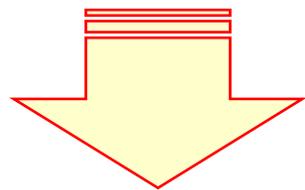


作者を知り，作者に問う

- 1年 「どうぶつの赤ちゃん」
- 2年 「どうぶつ園のじゅうい」
- 3年 「すがたをかえる大豆」
- 3年 「ありの行列」
- 4年 「アップとルーズで伝える」
- 5年 「言葉の意味が分かること」
- 5年 「固有種が教えてくれたこと」
- 6年 「時計の時間と心の時間」
- 6年 「『鳥獣戯画』を読む」

国語科学習の根底に

最もあてはまる
適切な



“正解”という鎧を脱ぐ

「寒いね」と

話しかければ

「寒いね」と

答える人の

いるあたたかさ

空所・すき間

文学は、穴ぼこだらけ

同じ安心感, “**ずれ**” るドキドキ感

“**ずれ**” は, **対話を生む**

“**ずれ**” は,
学校ならではの学びを創り出す!

“対話”の目的

- ①合意形成〔協議・討議〕
- ②共有化〔情報が満たされている〕
- ③**情報収集**〔情報が不足している〕
- ④新たな考えの創造〔止揚・揚棄（アウフヘーベン）〕

コミュニケーションから**インタラククション**へ

確かな「個人知」 → 「集合知」 → 確固たる「個人知」

学び合うとは

互いに得をすること

「対話」と「会話（おしゃべり）」の違い

- 考えのもととなる知識（根拠），理由
- 向上的変容（伸びゆく自分）
- 目的（達成したいこと）

中：文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、**一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く**こと。

高：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、**自分の考えを広げる**こと。



正しさのある“**確かな**”言葉

その人らしさのある



= 正解のない“**豊かな**”言葉